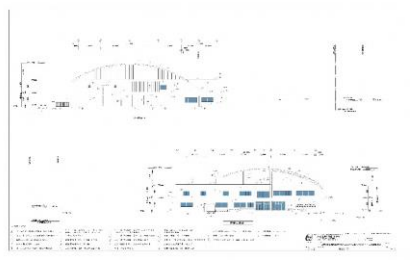


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西中学校多機能型体育館等整備工事(平成31年度継続費設定)	階数	地上2階 地下0階
建設地	神奈川県秦野市柳町二丁目5番	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,927時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年8月5日
敷地面積	5,130㎡	作成者	株式会社 岩田幸司設計事務所
建築面積	2,532㎡	確認日	2019年8月20日
延床面積	3,473㎡	確認者	株式会社 岩田幸司設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
公民館併設のため適切な量の駐輪場・駐車場を考慮し近隣住民の利便性にも配慮した。		
Q1 室内環境 外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮。また、全面的にF☆☆☆☆の材料を採用して空気質環境にも十分配慮した。	Q2 サービス性能 耐震性を考慮した。(建築基準法の25%増し)	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を取れない分、空地率を高めた。
LR1 エネルギー 断熱性能の高い外皮を採用しており、室内への熱負荷の低減を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水に配慮し、自動水栓や擬音装置を採用した。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場・駐車スペースを確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される